

授業科目名	歌曲実習Ⅲ	担当形態	実習		
		開講学期	春学期		
担当教員	長野 真理子	単位	1	年次	4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

歌曲基礎演習Ⅰで学んだことを発展させ、この授業では、受動的ではなく、より積極的に自ら研究を進めることができるようにする。グループ内でディスカッションを重ね、図書館・パソコンを活用して理解を深め、それを授業内で発表していく。更に歌唱として表現できるようにする。また、より多くの作品に触れることができるよう進めていく。

＝履修の条件と学習の方法＝

常に健康であることを心がけ、時間を厳守し、他グループの課題曲も楽譜を用意してくること。また、研究発表の中で少しでも興味を持つことがあったら、図書館を活用するなどして更に深く研究を進めるなど積極的な姿勢で臨むように。また、グループの中で研究を役割分担するのではなく、知識を共有すること。

＝授業の概要＝

この授業では、受動的ではなく、より積極的に自ら研究を進めることができるようにする。グループ内でディスカッションを重ね、図書館・パソコンを活用して理解を深め、それを授業内で発表していく。更に歌唱として表現できるようにする。また、より多くの作品に触れることができるよう進めていく。

＝授業計画＝

- 1回 グループ編成、課題（曲目）指定
- 2回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その1）
- 3回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その2）
- 4回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その3）
- 5回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その4）
- 6回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その5）
- 7回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その6）
- 8回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その7）
- 9回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その8）
- 10回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その9）
- 11回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その10）
- 12回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その11）
- 13回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その12）
- 14回 下記グループ課題の内の1曲を研究発表、詩の朗読、歌唱（その13）
- 15回 試演会

〈過年度の曲を参考に記す〉

Aグループ

- ・さくら横ちょう（中田喜直）
- ・落葉松（小林秀雄）
- ・宵待草（多忠亮）

Cグループ

- ・ゴンドラの唄（中山晋平）
- ・お菓子と娘（橋本國彦）
- ・平城山（平井康三郎）
- ・待ちぼうけ（山田耕筰）

- ・ひぐらし（團伊玖磨）
- ・鳩笛の歌（中田喜直）

Bグループ

- ・野薔薇（山田耕筰）
- ・北秋の（信時潔）
- ・浜千鳥（弘田龍太郎）
- ・出船（杉山長谷夫）
- ・ほしとたんぽぽ（中田喜直）

- ・すずしきうなじ（中田喜直）

Dグループ

- ・九十九里浜（平井康三郎）
 - ・サルビア（中田喜直）
 - ・城ヶ島の雨（梁田貞）
 - ・しぐれに寄する抒情（大中恩）
- 他

=テキスト（必携）=

特になし

=参考書・参考資料（必携）=

=成績評価の方法と評価の基準=

それまで学んだ曲の中から、なるべく他グループが研究発表した曲を1曲選んで試演会形式で演奏する。それに平常の出席状況、研究姿勢及びその理解の度合、成長の度合により評価する。

=その他=